



正一都金武錢 版五第十一  
 一ヶ月刊 告字語一行  
 紙一紙五厘 料一十錢  
 日一休 日曜大祭  
 祝日ノ登 發行所  
 常警毎日新聞社  
 電話六三〇番

刊夕日八十月六

**常警論壇**  
**人口調節と移民の價值** (三)  
 布川 靜淵

此三千万人が移住せず全然歐洲に定住したるものと見做せば歐洲の人口増加は一層多大に上りしと想像するを妨げぬ、されば此移住せる数だけでも調節せられるものと思ふべきである。假りに此推定を認めれば百人なりとも國土を去りて、他國に移住すれば、それだけ人を減らす次第、況んや三千万人の夫妻が生産する子女數をも合算すれば、或は其の二倍又は三倍の調節行はれたりと信すべき理由なき

にあらす、此意味に於て移民が本國の人口の調節に直接影響あるを認められる。然れども此推定は無條件の順調を認めて、人口増加したるべしとの假定である。若し三千万人が歐洲諸國に滞在したりとすれば、一層の密度を加へ茲に制限行はれて、さる増加力を發揮し得ざりしやも計られぬ、從つて米國に移住せる時の如く増加し得なかつたであらうとも見られる。要するに是等は假定なれば之を實測して統計にほすことは容易ならざるものである。今我邦に於て年々一萬二三千人の移民渡航がある若し之が國內に滞在したりとすれば、子女を擧ぐるものどし之を合せて約一萬六七千人の人口を調節されたるものと見做し、又其儘之を移住せしめざれば、それだけ國內の實數に於て餘分に増加すと見做される。假令此一萬六七千人なりとも現に移住によつて調節されたりとせば好ましき事實でないかといふ結論になる。此結論にして正當なりとすれば、百人二百人なりとも他に移住せしむることが、人口問題解決上必要にして當に上下の奮勵努力すべき價值あることであらうが、茲に減するものあれば更に補給するといふ生物的作用あることを忘れてはならぬ

**新着發賣!!**  
 正確な寒暖計と  
**体温計**は親切第一の**山野邊藥局**  
 平町五丁目角

「印除虫粉」  
 「印のみどり粉」  
 「印蚊こり線香」  
 斯界の權威たる最優良品好評噴々たり御愛顧使用を謝す

紀洲大正除虫粉 株式會社  
 代理 **西村屋藥舖**  
 平町二丁目電話三番

當る十八日より差替  
 大活劇 **カエルモ** 第七篇 第八篇  
 現代劇 **惡人つた彼**  
 東朝 **修羅八荒** 第三篇  
 連續時代劇 **白河小天狗** 後篇

今週(土)上映する四大映畫中「修羅八荒」は何人も期待せるマキノプロダクション秘蔵大映畫にて淺香若之助は果して煉場彌十郎の爲めに討たれしか如何に? 近よる足音は何人か? 今週に於て正に解決を見る

帝キネ 直營 **有聲座**  
 電話四四六番

新川町十七番地 表通商店向  
 新川町十八番地 表家二戸建  
 新川町 中野勇吉

第二病室 増設  
**高久病院**  
 院長 醫學士 高久 忠  
 副院長 新潟醫學士 赤羽 清  
 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄  
 平町田町電話五一三番

人畜無害  
**マイズ蠅取粉**  
 蠅をコップに入れ紙にて蓋を爲し穴を明け此蠅取粉少量を落とし込む時は蠅がキリキリ舞ひして斃れる有様が良く判ります又蠅取機に振り掛くも同様です

ホノノ少して一たまりもなく死ぬ

ダノアガシカハ  
 ニミリウイチ  
 シンキムシ

荒物雜貨賣藥等の各商店にて販賣します

御進物に  
**魚の館**  
 山崎屋

**外科**  
 入院應需  
**上田外科醫院**  
 平町南町  
 電話一二九番

**耳鼻咽喉科専門**  
**大和田醫院**  
 平南町(電話一七〇番)

和洋銅鐵 釜屋商店  
 釜屋セメント  
 賣れ行きが事實を證明する  
 品質聲價共に拔群の!!

釜屋セメント會社特約店  
 釜屋商店  
 釜屋平町五丁目 電話九番 一三九番

着尺モスリン  
 江戸好中形  
 納り手巾中形  
 小紋

龜出屋

京都産出五折販賣 有聲座隣  
**遠藤パン**

**磐城共濟病院**  
 院長 醫學博士 助川 喜四郎  
 副院長 醫學博士 藤井 秀旭  
 東京醫學士 相澤 信則  
 顧問醫學博士 大瀧 潤家  
 外科愛知醫學士 竹内 俊一  
 醫學博士 小池 公造  
 醫學博士 河合 健吉  
 慈惠會醫學士 松本 孝平  
 耳鼻科 千葉醫學士 長島 寅雄  
 醫學博士 男爵 松本 本松  
 醫學博士 澤口 清治  
 藥劑士 吉本 孝平  
 (新設)  
 産婦人科 醫學士 松本 本松  
 産科 遠西 をわ  
 同 松本 妙子  
 マッサージ 大塚 喜一郎  
 衛生試驗所血液試驗及細菌試驗其他ノ依頼ニ應ズ  
 看護看護婦講習學生募集三十名

### 平地方の繭相場は 漸騰の氣配が充分

#### 集散地に出廻り豫想

平町において既報の如く春繭の初取引が行はれたが相場は生糸採算不引合のため製糸家買入見送りの姿で一時的低落を見せ一般養蠶家を悲観せしめたが出盛期と共に再び逆轉漸騰の歩調を辿るものと見られそれに片倉小口、山十等が二三日中に買場開きをなす模様で自然仲買等も買進み相場はデリの高の見込であるが石城方面の養繭出廻豫想並に主なる集散地左の如し

▲平六萬貫六月廿日一七  
月十五日▲植田二萬八千  
貫六月廿三日一七月十日  
▲四ツ倉一萬貫六月廿二  
日一七月十五日▲上遠野  
八千貫六月二十七日一七  
月十七日

### 委員を督勵し 拂下の促進

#### 四倉海岸問題

石城郡四倉町では海岸地拂下げ問題で不祥事をひき起したが今後かゝる不祥事を繰返さざる様問題の海岸土地全部を拂下げの事に町會で既に決定し町有志中から實行委員をあげ願出の手續をこつたが右許可がはかしくなくないので氣をもんだ町有志は十五日有志大會を開き協議の結果門馬安十郎外十名の委員をあげて拂下實行の促進方につき杉原町長と實行委員を督勵する

### 踏切り撤回

#### 更らに猛運動

平町の鐵道以北は即ち仲間町、北白銀町、鷹匠町方面から鐵道以南の市街地に通ずる道路としては現在大工町の踏切の一筋で而もこの踏切に災され運々として同方が進まない有様なので町當局では再三鐵道當局に對し同所に跨線橋架設或ひは地下道開鑿の請願陳情をなす來つたが豫算の関係上今日まで實現を見るに至らず放任されてゐるので危険はいふに及ばず平町の盛衰にもかゝる重大事なのでこれが速進運動を兼ね履報の警越東線旅客列車の運轉延長の大運動を近々當局に向つて起すこととなつた

### 列車乗務員に 悪いのがある

#### 風紀問題で 驛へ一談判

去る十五日警城高等女學校に開かれた郡内各小學校長出席の第四回聯絡協議會席上に於て列車通學生徒の風紀問題が端なくも話題に昇り甲論乙論なかくに花が

### 福商の吉田教諭が 平商業の新校長に

#### 東京商大出身で年齢廿歳

欠員中の平町商業學校校長はこの程福島商業學校教諭吉田利吉氏に内定した氏は大正十年の東京商大出身で當年僅に廿歳十一月十月神戸市立神港商業學校から福商に轉任し今日に至つたもので卓抜な識見と崇高なる人格により將來を囑望されてゐる

### 平湯本線増設 廿一日から開通

平郵便局の取扱事務は最近急激に膨脹し電話事務等も

### 貯水池の 堤防が欠潰

#### 飯野村の狼狽

十七日午前十一時半ごろ石城郡飯野村下荒川地内水田七丁歩に灌漑すべき貯水池大堰の堤防が突如欠潰し満々とたゞえてあつた水は非常な勢ひを以て流失したため部落民は田植を前にして大狼狽を極め直に築堤修理に着手したが一方農會技手志田氏は農事試驗場石城分場に駆つけて揚水機二十馬力二臺を借受け灌入に努めてゐる尚ほ損害、原因等に就いては目下調査中である

### 坑内で盗み 白米泥も發覺

石城郡警崎村藤原炭礦坑夫目黒勝己(三)は十六日午前五時半頃入坑作業中佐藤五郎の神天及び現金五十錢、宮本成市の現金五圓五十錢を窃取し何食はぬ顔にて歸宅したが翌朝根本駐在巡査に取押へられ平署に引致小熊警部補取調べたる處同人は本年一月頃から十數回に亘り湯本町にて白米泥棒を爲した事自白に及んだと

### 櫻桃菓子(二)の製法

次に、櫻桃でジャムを造る方法、先づ櫻桃を大きな鍋に莖の付いたまゝ入れ少量の水を入れて煮るのである

### 不規則

にあつては面白味を見せてゐる模様物の方は複雑な好みも多少見えてゐる産地としての優劣を比べると第一は矢張り京都の西陣、之はごうじても動かぬ處である、次に越後物、八王子物といふ順になるが八王子物でも最近著しい

### 發達を 見せて見劣

のしない物が澤山出來て

### 蠶が死ぬ

石城郡高久豊間地方の春蠶は十六七日中に全部下簇したが発育中の天候不順で桑葉の發育が弱く過ぎたため日中起縮病發生した蠶は五兩の積出し豊間村大字豊間高久村大字高久方面で投棄したものが廿餘戸蠶種約百三割以上減收である

### 夏物も 矢張り明る

い物が多いそして黄色味の勝つた色合は最近の傾向として明石にも特殊な流行を示してゐる他に水色又は淺黄の系統の色が主で、それに赤っぽい色を適宜用ひて引き立たしてゐる、柄としては縞縞が

### 中心に されるのは

いつもの特色を發揮してゐる

### 縮み易

の年今 縮み易

### 警女校が卒業生の 現在の状況を調査

#### 良妻賢母になつたか否か 価値ある参考資料

縣立警城高等女學校は創立以來既に十四年を経過しその間千百餘名の卒業生を出したが將來同校生徒教養上の参考資料たらしむべく過般卒業生全部に對し往復ハガキを以て左記諸項を照會し回答を求め價值ある参考資料の取纏めに努めて居る

- 一、未婚、既婚、寡婦、再婚
- 二、結婚當時の年齢
- 三、結婚後舅姑と同居(同居せず)
- 四、御良人の職業(官吏、

農工商、銀行會社員、教育者、其他) 御子様(男何人、女何人) 現在の状況(家事、職業、學校在學) 七、本校に對する希望

来初めたものである、それが今年はずつと進歩が見えて、濡って縮んで辛捧出來る程度の物が出來てゐる、色合は此春から一齊に明るいものが現れ初めたのに影響されて

近來増加して來た先づ之から嚴重に取締りに取り掛らねば改善は永遠に覺束なからうとの説が大分高かつたので結局驛共交渉の上何と改善の道を

講ずる事 なるであらうから通學生も一層自重せねばならぬまいと某父兄は語つた

とする様な質の悪い驛員が